浜松南高新聞
発行所 県立浜松南高校新聞部 静岡県浜松市米新町
印刷 浜松共同印刷株式会社

メガネの 吉田屋 駅前広小路通り TEL 59 1188代

待たれる規約改正

多くの問題次期持ちこし
井上会長反省語る

十二月十七日、前期生徒会会長選挙が行なわれ、これを機に学校全体の雰囲気が変った。三年生から二年生にうつってきた。後期生徒会の発行や、任期中の生徒会中心の諸行事・規約改正の進行状態などにふれていた。公約の「開放的な生徒会について」や生徒会規約の発行など実現できなかったこともあったが、二学期の生徒会中心の諸行事を無事こなして後期生徒会の役目を果たしたことは大きな功績といえるだろう。

井上会長を中心とする後期生徒会本部は十一月下旬、任期中のほとんどの行事をすませ、残された任期の間に規約改正などの仕事を行ない、十二月十七日に行なわれた前期生徒会会長選挙後、新しい生徒会に引きつがれた。

規約改正の仕事は、井上会長の話しによると「条文の検討が行なわれ、来年の六月には修正案を発表できる予定」とのことであった。早く改正が実現して、より良い生徒会にしてもらいたいものであるしかし「早く改正するにしてもとはないが、まだまだ多くの問題があり、早くともあと一年ぐらいはかかるのではないだろうか」（水野前会長）という意見もあり改正にまだまだ時間がかかりそうである。

公約の「開放的な生徒会に」は六月から六月間の任期を終え文化展・体育大会などの諸行事を消化してきた生徒会本部だが、生徒からは「公約が実行されない」

多くの問題残して

「本部の活動ぶりが生徒に伝えられない」なる不満の声が多く寄せられていた。そこで任期満了も近い十二月の末に、井上生徒会長に今までの反省を求めてみた。成功であったといわれることしの文化展でも、準備不足だったのではないか、と不満の声も一部から聞かれていた。それについて会長は、「やはり進行に問題が残ったようだ。来年の文化展ではことしの反省をもとにして、より充実したものにしてほしい。一般に好評であったし、今考えると及第点はつけられる」と思う」と語っていた。

生徒の不満の多くが「公約が実行されていない」ということであった。会長は「開放的な生徒会」を目標にしてやってきた。座談会を設けたり、フォークダンスを通じての一般生徒との交流を図ったが、出席率が悪く効果はあがらなかったようだ。生徒会規約の発行も他の仕事に追われてしまい、およそ着手にはできなかった」とのべていた。公約のうち「実際に行なわれたものは少ない。これでは開放的な生徒会となることは無理だろう。「生徒会部のようすが生徒に完全に伝わらない」という批判出た原因として、総務委員会その他の委員会（委員が各HRに結果をようすを完全に伝えなかったことがあげられる。これも開放的な生徒会とならなかった原因のひとつである。次期生徒会への希望として「一般生徒との交流を深めてほしい。生徒会長の選挙の時、「生徒会中心とした「生徒会の諸行事・規約改正の仕事に追われ、後期生徒会は文化展や体育大会などの諸行事を無事に終え、規約改正の仕事を懸案の問題を解決し、生徒の納得のいく生徒会となることを期待したい。

条文を慎重に検討　規約改正

本部では前期生徒会から引きついできた生徒会規約改正の仕事に本格的にとりくんできた。

この規約改正案の今までの経過を見てみると、まず西期前の小形会長（昭和四十二年度後期生徒会長）のころから規約改正の話しがもちあがりはじめ、続いて松浦会長をへて山野会長になって初めて具体化された。この原案はその後何度か審議され、水野会長になってから初めて条文が生徒に発表された。後期本部ではこれまでのことをもとにして、新しい原案の作成・検討を規約改正委員会を中心に行なってきた。

以上が井上会長までの規約改正の経過であったが、後期生徒会が任期中に規約改正の完成まで至らなかったのは、条文を慎重に検討して、完全なものにするためであるはいるが、次期生徒会にゆだねる。また多くの問題が残されて実現してほしいとのことだった。

修正案が発表させられるのは、来年の六月の予定ということだがこれも新生徒会にゆだねである。新生徒会に期待したい。

任期中の大半の行事を終え一段落した生徒会本部

論説

生徒会の存在に責任を

人間は、考え方や性格が十人十色であって、決して統一されるものではない。特に学生は、もの見方や考え方が安定していないので、その心の内がわからない場合が多々ある。

しかし、平常な人間ならば、どんな者にだって責任感を感じた時、それに働く良心というものは存在するはずである。したがって我々は、自分自身の行動について、常に責任を持てるのが当然であるのに、南高ではそのような態度はほとんど見受けられていない。

たとえば、校内生活において重要な、生徒と生徒会との関係についても、考えなくてはならない問題がある。

生徒会長の選挙の時など、生徒ひとりひとりに与えられた責任を、あまりにも軽視しすぎている。無効投票数が多いのはその大きな表れである。

本校における年二回のこの選挙で、いつでも全校生徒数の十パーセント、あるいはそれを上回る数が無効投票となっているが、十パーセントといえば非常に大きな力を持ち、完全に差をつけることもできれば、逆転という結果をも出しうる数である。なぜこのように多くの無効投票が出るのだろうか。青き方の誤り、適任者がいない、おもしろ半分などがその主な原因として挙げられるが、どのような理由があろうとも、自分たちの代表を選ばなければならないことから、逆った行動をしないで、もっとまじめに真剣に考えてもらいたい。

この場合、前者を責められないとしても、この人たちからその後の生徒会本部に対して、不満の声がもやもやと高く発せられたり、非協力的な態度が多くとられる結果になることは、虫のよすぎることで、やはりここで無関心が感じられる。また、有効投票をした人々で、自分の選んだ人が当選したのならもちろんのこと、そうでなかった人にしても、その後の態度がこのようであったならば、当然前者同様に無責任であることを強調せざるを得ない。

生徒会長選挙の際にいつもこのような状態となり、それによって選出された会長を中心として形成された本部と生徒が、一体となりきれない。これは、本校における生徒と生徒会との関係について、生徒ひとりひとりが考え、自覚することの根本的な心構えがしっかりとできていないからだと思う。

生徒は本部に対して、本部は生徒に対して責任ある行動をとっているだろうか。生徒が本部に対して協力しないというのは、逆に、本部に計画性がないという原因であっても、同じように互いに盲目的な行動を繰り返すだけだ。生徒と本部とについては、このような関係が現状である。そして現在のような生徒会が存在しているのだが、うなずける点はなく、あやふやな存在のようにしか思えない。現に、生徒会といえば生徒会本部を指すように思っている人もいるが、この考えが当然のように思えるときもあるのである。しかし、あくまでも生徒会は生徒中心に存在するものだ。

ここで今一度、両者とも南高生であることを自覚して、自分自身の行動に責任を持つことが必要である。そうすることにより、そこには若者らしい精神が共鳴し合って、必ず何か通ずるものが存在する。生徒と本部は共に自分たちの生徒会に責任と自覚を持って、本校本来の生徒会をつくらなければならない。その使命に立っているのは、現在の南高生諸君のはずである。

一年の活躍目立つ
寒空の下のマラソン大会
見学者昨年の三倍

十一月二十九日、曇空の下で第六回校内マラソン大会が行なわれた。今回は本校南側に浜松バイパスが開通したため、男女のコースが一部変更された。

この大会のために体育の授業はもちろん、放課後まで利用して練習する姿も見受けられた。このように、練習を積み重ねたかけあって激しいレース展開が予想された十時、一瞬緊張しきった雰囲気の中を女子がスタート。その距離六㎞。男子は、これに選ばれた十五名、十二㎞の行程に自己の持つ体力と根性を競い合った。その中には若い先生方の、ハッスルフェイスも見られた。コースのところどころには先生と見学の生徒が立ち、走者を励ました。女子が全員到着すると男子がそれを追うように、ゴールをめざしてくる。上位はまじめに走りとおできたが中番以降、ホームルームの旗を振りながらゴールする者、数人で手をつなぎながらゴールして着順係の十人。男子は、これに選ばれることとなった。批判者はとれについて細かいことをついているようだが、とにもかくにも喜ばしいことだ。ところでわれわれは領土問題に対してどれぐらいの認識があるのだろう。北方領土が問題化されつつある現在、われわれも北へ目を向けて見るようではないか▼「もういくつ寝ると お正月」と思う」と語った。

個人成績は

男子

優勝　伊藤　公夫　四十分十秒
二位　朝倉　静男　三二HR
三位　渡辺　正巳　四十分十九秒
この大会の記録　二十五HR　四十分二十秒

女子

優勝　島　麻子　二十分四十秒
二位　井口厚子　二六HR
三位　大橋るり子　二十分十九秒
二十九分十四秒　二七HR

総合成績では、運動、競争科とも一年生が上位を占めた。それは特別体育の成果と思われる。

当日の朝霧に隠れて駅伝先生は「まじめにやってきた。事故もなく、また落伍者もなくよかった。最後まで走りぬいた信念と努力を各面に発揮してほしい」と感想を語られた。

（左）伊藤公夫君　堂々一位でゴールイン
（右）島麻子さん　＝本校正門前で

図書室で活躍する一期生
委員と力を合わせて

第8回ごくろうさん

今回で八回を行なわれる「ごくろうさん」は日頃から裏方がお世話になっている司書の大石芳子さんをおとずれた。

大石さんが司書の仕事を始めて約一年、最近やっと仕事に慣れてきたそうである。司書に移る以前は事務の仕事を二年半ほど行なっていた。また彼女は本校の一期生でもある。

転職についておうかがいしたところ「司書の仕事は事務と違って一人なので大変厳しいですが、内容が豊富なのでやりがいがありますし」と語った。仕事には新しく導入した本の整理・装丁・ラベルはり・カード書き・本の整理・スライド、レコード、録音テープの整備（スライドにあたっては、ネガをスライド用に製作する）・日刊新聞の管理など他方面の仕事も行なっている。

現在こまっていることをうかがってみると、本をもとの所へ返さない・借りても返済日に返さない・図書室がきたないなど一般的なことから図書委員の扱い方、個人的なことまでにわたっている。また、うれしかったことは図書委員がいっしょうけんめいやってくれると語ってくれた。

図書委員から見た大石さんは、ばかり、学生時代に経験した図書委員の風に出してどうにかこしらえてくれました」と語ってくれた。

大石さんの生徒に対する希望は本をもっと読んでほしい・大切に扱ってほしい・図書室はきたないでほしいということである。

大石さんに「ごくろうさん」という意味でも図書室には図書・図書室中の秩序を守ろうではないか。

本を大切にと大石さん

時期はずれの就任
土屋先生の代わりに

十一月から臨時としてふたりの先生が新見えた。これは土屋先生が、東京理科大学で勉強することになられたためその後任として本校にやってきたものである。

このふたりの先生は、浜松商業等学校の定時制の望月先生と浜松工業高等学校の同じく定時制の山本先生である。望月・山本両先生の横顔を紹介しよう。

一、生年月日　二、担当科目
三、指導方針　四、趣味
五、本校生徒の第一印象
六、本校生徒に望むこと

望月伸泰先生

一、昭和十五年八月二十三日。
二、物理。
三、何事にも疑問をいだき、それを自分で考えてみること。
四、読書、音楽、旅行。
五、明るさは感じるが野心に乏しいようである。
六、苦しみに耐えて向かっていく人間になってほしい。

山本和秀先生

一、昭和十五年九月三日。
二、物理、化学。
三、実験、観察を通して、物理化学が理解できるようにする。
四、魚釣、音楽鑑賞。
五、授業に対する態度が積極的で、熱心である。
六、勉学に励む事は当然であるが同時に遊ぶことも。

望月先生は、浜松商業等学校の定時制の望月先生と浜松工業高等学校の同じく定時制の山本先生である。望月・山本両先生の横顔を紹介しよう。

今後、いろいろな面で両先生と接する場合、南高生として期待にそうように心がけたいものである。

県新人戦　優勝に輝く男子ハンド
安形さん　県大会出場　剣道部

▼男子ハンドボール
十一月二十二・二十三日掌上高グラウンドで、男子ハンドボールの県新人戦が行なわれ、本校は見事優勝を獲得した。試合前の練習と試合の況状について野崎主将は「グラウンドの整備がしっかりされていなかったため、練習がやりにくかったが、攻撃の練習、特にシュートに重点をおき基礎を固めた。試合の一日めはあまり調子が出なかったけれど、なんとか切り抜けた。準決勝がいちばん力を発揮できたと思う。決勝戦は去年優勝した学校と当たったので、やる気十分であった。コンディションは負傷者が三人ほど出てあまり良いとは言えなかったが、チームワークがよかったため優勝できたのだと思う」と語った。

県新人戦
一回戦　本校17－6沼上
二回戦　本校21－5二俣
準決勝　本校10－5静東
決勝　本校11－6沼南
▼剣道部
十月十一日、優高校で新人戦の女子個人戦が行なわれた。その結果、本校は安形浩さんが三位になった。県大会へ出場することになった。県大会は十一月九日修善寺・高校で行なわれた。安形さんは試合の感想を「迫まりがけだったので少し疲れたため、コンディションはあまりよくなかった。本校にはとりだけだったので少し心細いった」と語っていた。

女子バスケ三位を

なお、男子は同日、八幡中学でスポーツ祭が行なわれた。八幡中体戦でA・B両チームが出場し、Bチームは三位という成績を修めた。

県新人戦
▽女子個人戦
一回戦　本校2－0沼南
二回戦　本校0－2横景
スポーツ祭
▽男子団体戦
一回戦　本校4－1興誠B
二回戦　本校3－2城北A
三回戦　本校4－1北B
四回戦　本校1－4興誠A

▼バスケット
女子バスケは、十一月十一・十八日の市スポーツ祭と、十一月二十一・二十三・二十九・三十日の協会結成記念大会の両大会で、第三位を修めた。また男子バスケも西四日間に二優勝を行なわれた西部部協会結成記念大会が浜松西高で行なわれ、惜しくも三回戦で破れた。

市スポーツ祭
▽女子バスケット
一回戦　本校33－24農経
二回戦　本校45－30緑心
西部協会結成記念大会
▽女子バスケット
一回戦　本校87－47磐田東
二回戦　本校60－56西遠
三回戦　本校40－90二俣
▽男子バスケット
一回戦　本校118－29小笠
二回戦　本校64－31日体
三回戦　本校51－69西
▽女子テニス
十一月二日、市立高校でスポーツ祭が行なわれた。その結果、森妙子さんと野宮智世校さんがダブルスで三回戦まで進んだ。今後の活躍を期待したい。

スポーツ祭（ダブルス）
一回戦　本校6－3市立
二回戦　本校6－4市立
三回戦　本校1－6市立
▼ダンス部
十一月七日、浜商体育館でダンス発表会が行なわれ女子商・浜商・二俣・本校の四校が参加した。本校ダンス部は一・二年生だけの出場で、文化展のとき発表した作品の他に、先輩の作品も発表した。

▼運動会物、からっ風が吹きすさぶ、きょうこのごろ。めっきり寒くなりました。休み時間ともなれば暖い方は熱山の人だかり。でもまだまだ寒くなりますよ。寒さなんかに負けてはいられないと朝早くグラウンドで運動に励む者あり。子どもは風の子。こちらがはりきれば寒さの方で逃げて行くよ。ホント！▼十月二十七日から十二月九日は読書週間。ところでわが校の図書貸し出しについて調べたところ、一回も借りていない人が六三三人。全校生徒の約半数。また図書館蔵書七六六五冊のうち三四六五冊しか読まれていない。パーセンテージにして約五十％だ（十月二十八日調べ）年間二二〇〇円の図書費を出し、しかも自分の身につく教養を利用しないとは現代っ子としておかしな現象だ（恋愛小説は別？）▼十一月十九日、弁論大会が体育館で開かれた。弁論にはマスコミの影響を受けて、世相を批判したもの、またそれを学校生活に関連づけたもの、学校生活を考えるもの、批判するものなどがあった。熱弁中、紙飛行機が流行している折りとは言え、聴衆の頭上をフワリ、フワリ。会場の雰囲気がシラけてしまう。同じ弁論を二、三回聞いた人もあるため退屈なのか弁論のよしあしにかかわらず真剣に聞く気がないのか考えてみるに生徒が一つにまとまる時がないように思う。誘惑の多い現代に生きているわれわれ高校生・若者のモラルとは…。改めて考えてみるべき必要があるのではないか▼年前十時、ピストルの音と同時に、南高に地響きがとどろいた。女子生徒の出発である。去る十一月二十九日のマラソン大会。少々うすら寒い天候が走るには持って来い。十五分遅れで男子本徒が出発。女子がスタートして約一時間後の南高正門。女子六キロ男子十一キロという距離を走り通した充実感からくるのかはわかれた顔、顔……。それにひきかえ先生方と見学者の寒そうな顔。マラソンは自分との戦いである。苦しい。しかしそれを乗り越えた顔の満足感は格別。ひとつ自己鍛練にマラソンを毎日なんていうのはどうだろう▼我々高校生は次の世代になる人間。現代の社会の移り変わりは重大関心事だ。佐藤首相が訪米して沖縄はわが国に返還されることになった。批判者はとれについて細かいことをついているようだが、とにもかくにも喜ばしいことだ。ところでわれわれは領土問題に対してどれぐらいの認識があるのだろう。北方領土が問題化されつつある現在、われわれも北へ目を向けて見るようではないか▼「もういくつ寝ると お正月」と思う」と語った。

スクールコート
学生服
大特価中
指定店
(株)オリンピア
浜松市伝馬町商工会議所向
TEL 54—4822
（夜間）72—0637

メガネで生かそう
あなたの魅力！
至誠堂眼鏡店
浜松・伝馬町角・会議所前　TEL 52-6219

より正確に　より精密に
メガネの御用命
貴方のメガネを
管理致します
メガネの足立
浜松連尺地下道西口
TEL 52-5229
専用駐車場完備

袋物鞄は
浜松駅前
広小路
辻梅

御通学には指定制服で
女子冬指定服
〃 夏スカート
〃 冬トッパー
男子制服詰エリ
生地純毛日毛カンドス地
〃 ギャバ地
御調製
特約店　大森洋服店
浜松市佐藤町TEL⑥3288

南高校制服専門店
ユニチカ　◎注文制服専門
（旧ニチボー・日レ合同会社）
長袖ブラウス
ネクタイ
純毛サージ　静岡県代理店　栗林株式会社
浜松市下池川町　TEL(71)7295
信愛高校入口

レコード・楽器・ステレオ
・レコードとあらゆる楽器　・音楽教室
・一流プラントステレオ展示　（ピアノ・オルガン・ギター・ドラム・琴）
音のハイショップ　イケヤ
本店（有楽街）52-5151　鍛冶町店 53-5550
遠鉄名店ビル　53-7814　袋井店　2-2529

第七回弁論大会

現代社会を考えて

悪かった生徒の態度

小堀さん　若者の断絶を訴える

昭和四十四年度第七回校内弁論大会が、十二月十九日の午後体育館で開かれた。ことしは学年別弁論大会を設け、各学年四人（計十二人）が校内大会に進んだ。これは例年言われているマンネリ化の対策として行なったもので、弁論大会は例年より充実したものになった。審査の結果、最優秀賞に若者の断絶を訴えた小堀ほづみさん（二十九日B）優秀賞には日本の現状を指摘し、日本をより良いものにしようと熱弁した水野晃夫さん（三十二日B）・思い出を作るためには羞恥などの心はすべて捨てなければならないと述べた内山佳子さん（三十八日B）に決定した。

第七回校内弁論大会が、十一月十九日の五・六時限に本校体育館で開かれた。

ことしは昨年と異なり、学年別弁論大会で各学年の代表者四人を選出し、校内大会に進んだ。これは弁論大会をより充実したものにするためである。生徒からはこれに対し、一度聞くため新鮮さが失なわれる・一度聞いたことのある弁論の時はまじめに聞いていない・時間が短かいためもり上がりがなかった・その反面時間が短かいのであきがこなくてよかった」という声も多い。また時間が長くても全員B代表者の弁論を聞きたかった、という希望も出た。

審査基準は▽論旨五十点・論題にテーマが合っているか・自己の主張が明確か・説得力があるか▽音声三十点・発音発声がしっかりしているか・抑揚が巧みであるか・間のとり方は適当か・話す速度はどうか▽態度二十点・演壇に立つまでの動作はどうか・原稿用紙にたよらないで話すことができるか・ジェスチャーはオーバーではないか。

審査員は生徒六人、先生五人で構成された。これは厚生委員会で決められたことである。だが一部の生徒や先生による審査に不満をもつ者もおり、来年からは全員で審査をしたらどうかという意見もあった。

本大会の反省として審査委員長の鈴木美先生は次のように語った。

「時間内に論旨がまとめあげてあったのはよいが、原稿をたよらないで話してほしかった。弁士と聴衆が一体化すればよりよい弁論大会になるだろう。聴衆者の聞く態度を今少し考えるべきだったと思う」

なお今回の弁論大会は、女性上位を反映してか男子の出場が少なかった。そのためまり消沢のある弁論が聞かれなかった。現在さかんな学生運動に関連したような高の特色ではかろうか。

さて生徒の態度であるが、全体的に昨年よりよかったといえる。「そうだ」というかけ声は弁士が話しやすくなり場内の雰囲気を高めた。だがヤジの過ぎる者、プログラムを紙飛行機を作って飛ばす者などが少なくなかったのは残念である。いま一度弁論大会の意義などを考えてみよう。

「断絶」を熱弁　1位の小堀さん

クラブ状況

設備が不充分

目立つクラブ員不足

上級生と下級生の交流を

文化展も終わりはや三ケ月。各クラブでは検定・試合もほぼ終わり一段落ついた。そこでさきほどの活動を振返ってみる意味で各クラブに、アンケート調査を行なった。まず人数については、多人数でまとめにくいクラブもあれば、運動クラブのように一般的に部員不足という問題があげられているクラブもある。また四月以降の入部と退部の人数はともに各クラブ平均二・三人である。その原因として文化クラブでは活動内容が単調であきがきた・早く家へ帰り自由な時間がほしい。一方、運動クラブではからだに欠陥があり続けることができないことなどがその主なものである。

各クラブの現在の状態は、文化クラブ全体にもいえることとして文化展を目標として活動しているため、文化展までは出席状態はよかったが、それ以後はあまり活発な活動は行なわれていない、というのがいちばん多い。また運動クラブでは出席率は良く、積極的なクラブ活動が行なわれている。

次に問題点について、運動クラブではコート数が少ない。場所が狭く他のクラブのボールが飛び込んできて練習のさまたげになる。なお場所的なことであるのに対して、文化系のクラブでは機械の台数が少なく練習があまりできないこと・部室がほしい・楽器が不足していること・設備が不充分なことが大きな問題点となっている。このほかあるクラブでは現在、人数が少なくて練習がおもうようにできない、などがあげられている。また運動・文化両クラブの共通としている問題としてクラブ員が少ない・上級生、下級生の交流が少ないなどである。これらの解決策として、交流を深める意味で会合を開いているクラブもある。また、出席率の悪いクラブでは、どのようにしたら多くの人数が集まるかを話し合うなどの方法を考えてみたらどうだろうか。

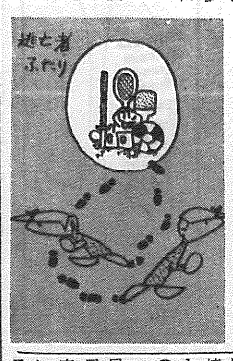
クラブ内の協力を

これからのクラブのあり方について文化クラブではクラブ内の協力・話し合い・活動を活発にすることがあげられ運動クラブではチームワークをよく・時間を守る・ひとりひとりがやる気を出す・けじめをつける・などがある。

また学校側への希望として用具をふやしてほしいということが多いようである。指導としては男女間の話し合いを多く・各自の向上・上級生の指導を望む・またあるクラブでは現在クラブの活動を有意義に過ごし、来年度も大きく飛躍してほしいとのこと。

各クラブの目標はやはり検定・試合でよい成績を修めることである。ほかにクラブの和やかな交友関係を深める・精神的、体力的に向上するなどもあげられている。

現在の活動を有意義に過ごし、来年度も大きく飛躍してほしいものである。



積極的な参加を

不振なフォークダンス

毎日昼休み、体育館を考えるのグループがバスケットに、バレーボールに熱中になっている。

ところで、体育館使用規定から一般生徒が自由に体育館を利用できるのは昼休みという、ごく限られた時間しかないことがわかる。フォークダンスは、この限られた時間をより有効に利用するために毎週金曜日に開かれているものである。これは、もともと男女間の交流を深めるのが目的。この南高が新設された当時、生徒の要望で行なわれるようになったが、近ごろは ポスター使用などの活発な動機にもかかわらず参加者が、たいへん少ない状態となっている。そこでフォークダンスの実態をさぐり、その原因を考えてみよう。

金曜日の四時間目が終わるとフォークダンスをだろうという内容の放送が流れる。そして昼食後、いつものように体育館に行くグループはあるが、フォークダンスに参加する者はごく少なく、生徒会本部に促しているのだが、その注意に目もくれずに思い思いの球技に熱中している。かんじんのフォークダンスの輪は数多い無関心な生徒に圧倒されて、すみの方でポツポツとやっているような状態なのである。

今までフォークダンスには、つきものとされてきた野次馬もこのころは、その数がだいぶ減ってきたように見える。そのことからもフォークダンスに対する生徒の興味が薄らぎつつあることがわかる。

そこで、もう一度考え直す必要はないか。南高は青山科・商業科と一つの学校でありながら、それが大きく分割されたような状態になるところを生徒からの強い希望によって生徒会本部が中心になってフォークダンスが開かれるようになったのである。

それぞれ個人が分れて別々に楽しむのもよいが一つのまとまった団体行動によって楽しさを得るのもがった受けとめかたとして心に残るものではないなろか。今のところ人数はすくないがフォークダンスに積極的に参加している人から見れば、こんなに楽しいのになぜ、と思っているにちがいない。

とうしたら徹底できるだろうかフォークダンスの輪を大きくする一つの案として、金曜日以外の昼休みの体育館は、これまでと同じように開放して金曜日の昼休みだけはフォークダンス専用にすればどうか。そうすれば今までのように球技をやっている生徒を無職することなく、またボールが飛び込まれることもなくなるだろう。フォークダンスは自由参加である。それだけに、そうなれば真剣にフォークダンスに参加する生徒が、増えはしないだろうか。

Fri.　P.M.12:50の体育館

三位入賞

魅力ある新聞を

来年は一位を目標に

「静松南高新聞」23号が、静岡県学校新聞コンクールで第三位に入賞した。このコンクールは毎年行なわれており、静岡放送・県教育委員会・静岡新聞の行事の一環として、静岡新聞社（静岡）の主催で行なわれているもので、本校は昨年に引き続き二度目の三位入賞である。編集長は「始めは信じられなかった。去年も三位であったので、先輩たちの伝統を守ることができてとてもうれしい。来年は一位を目標にがんばってもらいたい」と喜びを語った。

授賞式は十二月十九日、静岡市長服町の第一生命ビル八階ホールで開かれ、授賞のあとで新聞の講評が行なわれた。

審査は主催者側から六人があたり、審査基準は①記事の内容②編集技術と別かれており、①記事の内容は、ニュースのとらえかた・新聞構成、文章表現、考える記事（特集）②編集技術では、割り付け、見出し、写真などが重視されている。審査員は講評の中で「新聞作りに対する興味と意欲は年とともに増大しているが、新聞発行の新聞でなく、学校中の生徒に読んでもらうことを念頭において、魅力ある新聞作りを心がけることが大切である」と、ことしの総評を述べられた。また、我校は特に「一面がよい、特集の取り方にしまりがない、見出しと記事の内容が合っていない」などを指摘された。

大そうじは全員で

清掃はひとりひとりの責任

校内を回ってみて自じつこのが清掃状況である。他校の人が校内にはいって、その学校がどんな学校であるかは、校内の清掃状況によって、おおよその見当はつくのだ。

二学期にはいってから、保健委員が校内をより美しくするために月曜日の大そうじの時に腰番で校内を回り、清掃状況の良い点、悪い点をメモしている。メモされたことは、各H B担任を通じて生徒へ報告されている。

全体的に見て、めだって良い点としては、黒板がきれいなこと、悪い点としては、窓ガラスとサッシの汚れがあげられた。窓ガラスが特に汚れている理由は、位置が高くて手がとどかないこと、清掃用具が不充分なこともあるが、第一にやらないということである。

大そうじは、全員で行なうことになっているが、H Bによっては清掃当番をけりて行なっているところもあり、統一されていない。

井上会長は「生徒会では、保健委員が校内を回ったり、自転車通学委員が、自転車置場をきちっとするなどの方法をとっているが、生徒全体を通しての校内美化に対する考えは、文化展などの行事を重視したため考えていない」と語っていた。

清掃の責任もってやっているかない」という答が多かった。その理由として、早く帰りたいとか、人数が多くて清掃用具が足りないこと、はきそうじはけなのでやることがない、などが聞かれた。

生徒の清掃としては、清掃時間を徹底させるために、音楽をかけるとか、ベルを鳴らすとかしてほしい、清掃用具を整えてほしいという声があった。その声に対して村松教頭先生は「音楽をかけると不満は徹底させることができるだろうが、貴重な時間は、バスの時間の関係でむずかしい。清掃用具の点では、そうきんなどH Bで都合をつけ、バケツやほうきなどが足りなくなったり、こわれたりした場合には、大田黒用先生が福田先生に申し出てくれれば、用意しま す」と答えてくれた。

生徒に質問したところ「やっていない」という答が多かった。その理由として、早く帰りたいとか、人数が多くて清掃用具が足りないこと、はきそうじはけなのでやることがない、などが聞かれた。

生徒の清掃としては、清掃時間を徹底させるために、音楽をかけるとか、ベルを鳴らすとかしてほしい、清掃用具を整えてほしいという声があった。その声に対して村松教頭先生は「音楽をかけるとが不満は徹底させることができるだろうが、貴重な時間は、バスの時間の関係でむずかしい。清掃用具の点では、そうきんなどH Bで都合をつけ、バケツやほうきなどが足りなくなったり、こわれたりした場合には、大田黒用先生が福田先生に申し出てくれれば、用意しま す」と答えてくれた。

創立記念日見で、一見美しく見える我校も、生徒の協力がなくては

職員室だより

幼なじみの思い出は

九月のことから、少し以前のことになったが、野崎先生が「子安で変ったことがあった。」と子安先生に話しかけたことがあった。「そうですね、あまりありませんね」といって子安先生の眼が笑った。「変ったことは、最近に子安でのがいたんですよ」と野崎先生。

野崎先生は、周智郡の春野町の出身だから春野町は子安ということが多かったのかな、と思った。

「春野町には子安っていう姓が多いんですか」「多くはないんですがね」野崎先生は話した。「僕の家のすぐ近くに小学校の三年の時までいたんですが、お母さんの手伝いをしたりすり鉢をしたりしながら言った。「よく泣んだんです。かくれんぼや、鬼ごっこも、裏の川へハヤ釣りにも行ったんですよ」青いレモンをそっと唇の先でもて遊んでいるようだ口調であった。「かわいかったんでしょう」福田先生は口を一杯にあげて愉快そうに笑った。その時子安先生が言った。「私の家族も私が五才の時まで、春野町にいたんですよ」「ええ」と野崎先生。「で姉がいたんですが、とうさんの手伝いをしてしまったんです」「えっ？」「善しっぱなしでわかりないことが多くしたんですが、ひやかし半分に言った。「そうだったんですよ」野崎先生は誤鏡を真先ですり善しながら言った。「よく泣んだんです。かくれんぼや、鬼ごっこも、裏の川へハヤ釣りにも行ったんですよ」青いレモンをそっと唇の先でもて遊んでいるようだ口調であった。「かわいかったんでしょう」福田先生は口を一杯にあげて愉快そうに笑った。その時子安先生が言った。「私の家族も私が五才の時まで、春野町にいたんですよ」「ええ」と野崎先生。「で姉がいたんですが、私と同じくらいの」「ええ？」「善しっぱなしでわかりないことが多くしたんですが、ひやかし半分に言った。「そうだったんですよ」野崎先生は誤

先生は全然知らない間柄ではなくて、いわばおなじみであった。子安先生は、おねえさんのあとをよちよち歩きでついて歩いていたわけで、さぞおねえさんばかりお相手にして、全然遊び相手にしてくれない野崎少年を心憎く思っていたことであろう。しかしその子安先生にはその記憶はまったくないということであった。

職員室には五十三人の先生方がいるが、その中の何人の先生方がタバコを吸われるのか、先生方いて調べてみたところ分かった。その結果十六人であった。たばこの三人にひとりの割で先生方はタバコを吸われるわけだが、ひとりだいたい平均一日に二十本（一箱）というところらしい。ほとんどの先生がハイライトを好まれるようだが、しんせい・ピース・一・エコー二とハイライトを敬遠される先生もいた。

取材日記

十番が四百番に

菅原基巳、食堂に参加し被会の反省をインタビュー。きょうは非常におおられてしまった。本部のことを"生徒会"と呼んだら「生徒会というのは、本部と生徒をいっしょにした呼び方だよ……」なるほどそのとおり。しかし、なんでそんなに意識するのかな。自分たちから本部と生徒を分けて考えているのだから一体化なんて……。インタビューを終えると会長が一言「記事ができたら一度おれに見せに来いよ」だとうだんを、しかし食堂というのは大変な仕事であった。とにかく在任中の労をねぎらいたい。

菅原基巳、柳原好さんの服村のため図書室、司書の先生にインタビュー。勝気な先生につられて、僕の質問も気負い福同ぎみ、こんなすてきなおおぎ様と仕事ができるなんて、図書委員がうらやましい。

菅原基巳、マラソン大会と「浜松南高新聞」23号三位入賞の授賞式の日である。「十二時の新幹線に乗るために、絶対に十番内に入るぞ」と、はりきってスタートした編集者の平君であったが、ゴール前で待ちかまえる部員の前に現われたのは、すでに四百番を過ぎたころであった。

K・W

職員チーム大奮闘

対抗試合で親密をはかる

生徒会本部と先生が、親密をはかるために、十月二十三日の放課後、ソフトボールの対抗試合を行なった。

結果は、十九対六で生徒会が圧勝した。職員チーム十四人、生徒会役員十人が参加して、試合が進められた。試合中、ピッチャーの手安先生とキャッチャーの福田先生が、フライを取ろうとして衝突して、福田先生のメガネがポトリと落ちて、曲がったとか。終了後には、生徒会にカップが贈られた。

試合が行なわれたことについて知らなかった生徒が大部分であった。この試合を行なったことに対して井上会長は「対抗試合は、軽い気持ちでレクリエーション的なものとして行なった。これからはこのような試合を機会あるごとに行ない、一般生徒からも募集してやっていきたい」と語っていた。

この対抗試合をきっかけとして生徒と先生とのよりいっそうの親密を期待したいものである。だからである。生徒の今まで以上の協力を期待したいものだ。

水よ水よ出ておいで

水道場まで駆け足

一年生が使用している四階水道場は、四時間目終了のブザーが鳴ると、毎日混雑している。最初の人たちは水の出が悪いという心配はないが、充分に出るわけではない。少しでも授業が長びけば水道の水は出ない。こうなれば水が出ている間各H B駆け足である。このような状態は四時間目終了直後だけではない。体育の終わった休み時間においても同様である。運動で汗はんで顔や手を洗いたくても水が出ない。

これは、もちろん四階の水道を使っている一年生だけが持つ不満であるが、二・三年生も一年生時代には、持った不満であろう。一年生にこのことをインタビューしたところ、出なければ三階に行く・水が出るところに洗いに行くなどと不満はあるけれどそれほど気にしていないという結果である。

四階の水道と共に考えなければならないのが、女子トイレである。四階女子トイレを使用している生徒に聞いてみると、二・三階のトイレを使用する・水が出ないのは困るけれどしかたがない、と水道の問題は、四階の水道も他の水道と同じようにと望んでいる。

この件について事務長は「この問題は校舎を建て直すか、特別の装置を設置しなければ解決しません。解決できるまでにはいろいろな問題が出てきますからむずかしいことですね」と図を用いて説明してくれた。学校側では特別な対策を考えていないが、生徒としては、四階の水道も他の水道と同じようにと望んでいる。

長田さん当選

次期生徒会会長

前期生徒会会長選挙が、十二月十七日に行なわれた。最多数得票者が有効得票数の八分の三に満たなかったため、十九日、長田さんと竹内さんの決選投票が行なわれその結果、長田さんが会長になった。なお今回の選挙の開票結果は次のとおりである。長田ひさ子（三百二十五票）竹内光（三百三十八票）鈴木雅山誠一郎（一百三十八票）無効投票（百九十七票）決選投票の結果は、長田ひさ子（五百三十一票）竹内光（四百四十票）無効投票（百八十三票）今回もまた無効投票が目立った。初の女子生徒会長に、今後の活躍を期待し声援を送ろう。

そのかみのひとのこころもとつくにのひとのおもひもふみにしらるる

谷島屋書店
連尺町本店
遠鉄名店ビル
遠州浜団地

靴の専門店
流行とセンスの
アツミヤへどうぞ
※ 当学校女子靴指定店 ※
アツミヤ靴店
遠鉄名店ビル南　電53-0645

— シューズ・チェーン —
ワシントン靴店
ワシントン靴店　田町有楽街52 4913
ニューワシントン　鍛冶町52 1922・1929
ライオン靴店　鍛冶町52 2022
マルサ店　(サ)デパート内53 1815

カシドス 学生服
ストレッチのコート
良い品の 安い
婦人服 小池屋 紳士服
学生服
浜松市鍛冶町　日活劇場前　TEL 52 1276

スポーツ用品は
アオヤマスポーツ
浜松市肴町一四一の二
TEL 54 9148

69→70
来たるべき新しい年に向い，浜松で最も伝統あるコックスがあなたのために取り揃えた《ニューワードローブ》コート・スーツ・セーター・スラックス・シャツ等々新しい感覚の溢れるデザイン素材をぜひあなたも自分のものにして下さい。
《ビッグ・ニュース！》今，浜松の話題になっている，クリスマス・プレゼントセール，お買い上げのあなたに「ダックスが7台」当ります。抽選会は45年1月3日お客さま立ち会いで行ないますからあなたもぜひご参加ください。
浜松・有楽街　mr.shop COX　PHONE 53—7225

読書の秋
名作を読みましょう
文庫本はいつも
豊富に揃っています
三省堂書店
本店　浜松市大工町142　TEL（代）54—0231
支店　浜松市平田町52　TEL　52—8501